PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference M5160408	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below			
International application No. PCT/JP2004/018468	International filing date (day/month/year) 10 December 2004 (10.12.2004)	Priority date (day/month/year) 18 December 2003 (18.12.2003)			
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237					
Applicant MURATA MANUFACTURING CO.	, LTD.				

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).						
2.	This REPORT consists of a total of 6 sheets, including this cover sheet.						
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.						
3.	This report contains indications relating to the following items:						
	Box No. I	Basis of the report					
	Вох №. П	Priority					
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability					
	Box No. IV	Lack of unity of invention					
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement					
	Box No. VI	Certain documents cited					
	Box No. VII	Certain defects in the international application					
	Box No. VIII	Certain observations on the international application					
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).						
			Date of issuance of this report 20 June 2006 (20.06.2006)				
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes		lombettes	Authorized officer Masashi Honda				
1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No. +41 22 740 14 35		MICELIANG	Telephone No. +41 22 338 70 10				

Form PCT/IB/373 (January 2004)

発倡人 日本国特許庁(国際調査機関)

MINA DI PIANICE CONTRACTOR					
出願人代理人 小原	REC'D 07 APR 2005				
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	WIPO PCT				
あて名 〒 222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2丁目14番地14 新弘ピル5階	PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) [PCT規則43の2.1]				
	発送日 (日.月.年) 05.04.2005				
出願人又は代理人 のむ類記号 M5160408	今後の手続きについては、下記2を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP2004/018468 国際出願日 (日.月.年) 10.	優先日 (日.月.年) .18.12.2003				
国際特許分類(IPC)					
Int.Cl. 7 C04B 35/20					
出願人 (氏名又は名称) 株式会社 村田製作所					
際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づ ない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この	祭調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 いて国際調査機関の見解審を国際予備審査機関の見解審とみなさ の見解審は国際予備審査機関の最初の見解審とみなされる。 とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か				
63月又は優先日から22月のうちいずれか遅く微了 な場合は補正書とともに、答弁書を提出することがで	うの別院が起過するように、田野大阪を国が、新田上ののできる。				
さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参	•				
3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考					
見解書を作成した日 14.03.2005					
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 大橋 野一 4 T 8825				
東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 6791				
L					

様式PCT/ISA/237 (表紙) (2004年1月)

第I欄 見解の基礎					
1. この見解否は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の首語を基礎として作成された。					
この見解書は、 それは国際調査	語による翻訳文を基礎として作成した。 そのために提出されたPCT規則12.3及び23.1(b)にいう翻訳文の言語である。				
 この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解告を作成した。 					
a. タイプ	配列表				
	配列表に関連するテーブル				
b. フォーマット	書面				
	□ コンピュータ読み取り可能な形式				
c. 提出時期	出願時の国際出願に含まれる				
	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された				
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出された				
3.					
4. 補足意見:					
Į.					

国際調査機関の見	.解哲	国際山願番号 PCIノ JP200年/ GIS		
第V欄 新規性、進歩性又は産業上の それを裏付る文献及び説明	利用可能性についてのPCT	[*] 規則43の2.1(a) (i) に定める見解、 		
1. 見解				
新規性(N)	請求の範囲1, 2 請求の範囲	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	有 無	
進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1,2</u> 請求の範囲		有 無	
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 1,2 請求の範囲		有 無	
2. ★献及び説明				

第VII概 国際出願の不備

この国際出願の形式又は内容について、次の不備を発見した。

段落0035で「この時の比誘電率 ϵ r は $7\sim22$ 」とあるは、表 1 の記載からみて「この時の比誘電率 ϵ r は $8\sim22$ 」の誤記と認められる。

第2個 国際出願に対する意見

請求の範囲、明細書及び図面の明瞭性又は請求の範囲の明細書による十分な裏付についての意見を次に示す。

段落0025の「MgOと SiO_2 とを混合、粉砕した後、この粉末を仮焼することによってフォルステライトを合成する。・・・そして、合成フォルステライトと、合成 $SrTiO_3$ とを、Mg/SiOモル比を調整するための $MgCO_3$ とを混合して表1に示す組成の誘電体セラミック組成物を調製することができる。」との記載は、技術的に理解できない。

なぜならば、表1に記載されているのは、Mgが化学量論組成より不足したフォルステライトであって、これは、フォルステライトにMgを混合して調製することはできないからである。